

QuickGuide

クイックガイド

☆下記四角数字 ①～⑨、①～⑤ と本体のシールの四角数字は連動しています。

エンジンのかけ方

① 燃料を入れる

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	3.6L

※古い燃料は使用不可(燃料は劣化します)

② エンジンオイルを入れる

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地は5W-30 ・極寒冷地は0W-30
オイル容量	0.55L

初回は、工場での試運転時のオイルが残っていることがあるため、オイルゲージを見ながら給油

③ アクセルレバーを「うさぎマーク」と「かめマーク」の中間にする

④ 燃料コックを右「ON」にする

⑤ チョークレバーを左側にする

⑥ エンジンスイッチを「ON」にする

⑦ リコイルスターターを引く

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早くおおよそ60～70cm 引きます。

⑧ エンジンがかかったらチョークレバーを右側にし、1～2分暖機運転をする

⑨ アクセルレバーを「うさぎマーク」側にし粉砕作業を開始

エンジンの止め方

※作業後は急にエンジンを停止せずに数分空運転をし、内部の粉碎カスを排出させます。

① アクセルレバーを「かめマーク」側にする

② エンジンスイッチを「OFF」にする

③ 燃料コックを左「OFF」にする



緊急時の停止方法

▲異音・異臭がしたら緊急停止

▲詰まったら緊急停止

▲煙が出たら緊急停止

④ 緊急停止ボタンを押す

⑤ または安全バーを押す

② エンジンスイッチを「OFF」にする

※原因を確認し、安全が確保されるまで再始動はしないでください。

エンジンがかからない!

下記を確認

- 新しい無鉛レギュラーガソリンを入れましたか?
- オイルを規定品質・規定量を入れましたか?
- アクセルレバーを「中間」にしましたか?
- 燃料コックを「ON」にしましたか?
- チョークレバーを「左」にしましたか?
- エンジンスイッチを「ON」にしましたか?
- ホッパー(投入口)、シュータ(排出口)は閉まっていますか?



作業終了後に行うこと



注意

保管前に、下記を必ず行ってください。
怠ると「エンジンがかからない」などの恐れがあります。

- ① 1ヵ月以上使用しない場合は、余った燃料を抜く(燃料は劣化します)
- ② エンジンのかけ方③～⑧を行いガス欠にする
- ③ エンジンを停止しエンジンが冷えた後、ホッパーやシュータの内部に付着した木くずや粉碎カスなどをエアブローなどで吹き飛ばし取除く
- ④ 内部や本体に付着した樹液等を市販の樹液除去剤等で取除く
- ⑤ 刃に欠けや摩耗、ボルトの緩みがないか確認し、不具合がある場合は交換や増し締めをする
- ⑥ ベルトに亀裂や摩耗、緩みがないか確認し、ある場合は交換や調整をする
- ⑦ 可動部にグリス(モリブデングリス)や潤滑油を塗布する

中長期使用後の症状・対処

エンジンがかからない!

燃料の問題
古いガソリンを使用していませんか?
↓
1ヵ月以上経過したガソリンは使用不可(燃料は劣化します)
エンジンオイルの問題
規定品質・規定量を入れましたか?
↓
<ul style="list-style-type: none"> ・少ないとエンジンはかかりません ・多いとマフラーから白煙が出ます
エンジンオイルの問題
オイル交換をしましたか?
↓
初回1ヵ月後または20時間運転後、その後3ヵ月後または50時間運転後にオイル交換が必須
リコイルが引けない
エンジンオイルを規定量より多く入れていませんか?
↓
エンジン室内でのオイルが多いとオイルの逃げ場がなくなりピストンが動けなくなります 水平な場所でオイルを規定量にしてください

エンジンの回転が上がらない!

エアクリナーの問題
エアフィルタの汚れ
↓
3ヵ月後または50時間運転後にエアフィルタ清掃 汚れやすい場所で使用した場合は都度清掃が望ましい また、1年毎または300時間運転毎にエアフィルタ交換
キャブレターの問題
内部の汚れ・詰まり
↓
清掃・交換

エンジンはかかるが粉碎できない!

刃が回転しない
枝木・竹の詰まり
↓
太い枝木と細い枝木を同時投入した場合、細い枝木が粉碎されずに詰まりやすくなります 古い竹は粉碎されずに縦に割れて詰まります
刃の問題
刃が欠けている
↓
研磨または交換

